

学校 教育 目標	「ひびきあい」 ○自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 ○お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 ○たくましい心と健やかな体を育てます【体】 ○社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】 ○さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】			
	学校 概要	創立 52 周年 児童生徒数: 703 人	学校長 川又 美貴子 主な関係校: 旭中学校	副校長 正木 俊行 2 学期制 一般学級: 22 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	旭中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、自ら考え、行動する力</li> <li>・他を認め、協働して課題解決をする力</li> <li>・社会とのかかわりを大切に、共に生きる力</li> </ul>	旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期 取組 目標	○多様な人との出会いや学び合いの中で、お互いの思いや考えのよさや違いを感じたり考えたりしながら、よりよい考えをつくり出したり、自分の考えに生かしたりできるようにします。(認め合う⇒生かす⇒共につくり上げる) ・旭中学校併設型小学校として、学習・生活の両面で中学校とのつながりや関わりを大切に教育活動を行います。 ・主体的、対話的に学ぶ、子どもが主役の授業づくりを推進します。 ・お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度の育成を図ります。 ・地域の「ひと・もの・こと」とのつながりを意識し、地域に生きる思いや態度を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業づくり	(1)子どもが自ら調べたくなる、考えたくなる、話したくなる課題の設定や展開の工夫をする。 (2)誰もが安心して学ぶことのできるよう、ペアや小グループでの話し合いを大切に授業展開を行う。 (3)各教科・領域で、身につけさせたい資質・能力を意識した授業力の向上を目指す。 (4)魅力的な「ひと・もの・こと」との出会いを目指して地域の材を発掘し、各教科・領域との関連付けを行う。
担当 授業づくり部	
徳 豊かな心	(1)ペア活動・たてわり活動での異学年交流を通じて、相手を思いやる心を育成する。 (2)音楽活動や学校行事等を通じて、友達と同じ目標に向かう良さを実感できるようにする。 (3)子どもたちが個性を認め合いながら、居心地の良い学級・学校づくりを目指せるようにする。 (4)多様な価値感にふれられるように、地域とのつながりを感じられる活動を取り入れる。
担当 人権・児童指導	
体 健やかな体	(1)「食」の大切さや、食に関する興味・関心を高める食育の推進を行う。 (2)元気アップタイムや学校保健委員会の取組を通して自己の健康に対する意識の向上を目指す。 (3)身につけさせたい資質・能力の向上を図るための体育科学習を充実させる。 (4)運動委員会や集会委員会による取組や集会活動による健康体力の向上を目指す。
担当 健康食育部	
公 開 地域とともに 歩む	(1)地域・防災科や、地域・防災科に向けた1～5年生の学習活動を充実させる。 (2)日々の学習活動で、子ども達が地域とのかかわりを意識化できるようにする。 (3)地域や社会の多様な人たちとの出会いを通して、自らにできることを考えられるようにする。
担当 教務部	
いじめへの対応	(1)居心地の良い認め合う学級、学校生活により、いじめの未然防止に努める。 (2)教科担任制など複数の教職員の児童理解に根差した支援体制により、早期発見、早期対応につなげる。 (3)いじめにあった児童の心のケア、意向に寄り添った対応をする。状況に応じ関係機関と連携し、適切な指導、支援を構築する。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	(1)メンター研、中堅教員研修等の校内研修時間を確保する。 (2)校務分掌を少人数化し、責任の明確化と意思決定のスピード化を図る。 (3)学年支援、学年担当教員を割り当て、チーム学年経営を推進する。 (4)キャリアステージに応じた先輩教員による、ミドルリーダーや主幹教諭候補の育成を行う。
担当 教務部・メンターチーム	
小中一貫	(1)9年間で育てる子ども像を中学校と共有し、小中の職員が合同で授業研究や研修会を行う。 (2)小中合同の児童生徒交流会を行う。 (3)中学との円滑な接続に向け、中学校教諭によるリード授業(6年図・理・音)や英語科教諭による外国語科授業(5・6年通年)、数学科の先取り授業(6年)を行う。
担当 小中連携部	
地域学校協働活動	(1)地域学校協働本部を立ち上げ、地域と学校の連携を強化する。 (2)地域の方々による登校の見守り(学援隊)について協議し、安全対策の充実を図る。
担当 教務部	
児童指導	(1)スタートプログラムを取り入れ進学、進級時の人とのつながりを丁寧に確保する。 (2)YPアセスメントなどで学級の実態に応じた社会スキルを設定し、認め合う学級集団づくりにつなげる。 (3)人権週間など、子どもの日常に即した学びを随時取り入れ、様々な思いにふれ、人権感覚を高める。 (4)年2回のアンケートで子どもと個別の教育相談を実施し、子どもが安心して学校生活を送れるようにする。
担当 児童指導部	